

2019年度 第2四半期
(2020年3月期 第2四半期)

短信補足資料

2019年11月5日

不二製油グループ本社株式会社

目次

1	連結 損益概要(2Q : 3ヶ月実績)	…	3 ページ
2	連結 損益概要(2Q累計)	…	4
3	連結 貸借対照表	…	5
4	連結 キャッシュ・フロー	…	5
5	連結 指標	…	6
6	2019年度通期業績予想	…	7
7	設備投資額・減価償却費の推移	…	8
8	配当の推移	…	8

◆ 1. 連結損益概要(2Q : 3ヶ月実績)

第2四半期 (3ヶ月実績)

(単位: 億円)

		18年度	19年度	前年同期比	
		2Q	2Q	増減額	増減率
売上高	植物性油脂	258	240	▲18	▲7.0%
	業務用チョコレート	147	436	+289	+196.4%
	乳化・発酵素材	210	201	▲9	▲4.5%
	大豆加工素材	92	90	▲2	▲2.2%
	合計	707	967	+259	+36.7%
営業利益	植物性油脂	19	25	+6	+33.2%
	業務用チョコレート	12	14	+2	+17.8%
	乳化・発酵素材	5	11	+6	+121.4%
	大豆加工素材	8	11	+2	+27.2%
	連結調整・グループ管理費用	▲7	▲10	▲2	-
合計	37	51	+14	+38.7%	
営業利益率		5.2%	5.2%	+0.1pt	-
経常利益		38	48	+10	+25.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益		9	28	+19	+207.0%

※欧州は、植物性油脂事業と業務用チョコレート事業に分割。18年度は遡及修正済み。

■ 営業利益

<ポイント>

植物性油脂事業での収益性向上に加え、業務用チョコレート事業での日本の伸長、乳化・発酵素材事業での日本のクリーム等の販売数量増などにより、大幅な増益となった。

<セグメント別>

植物性油脂

チョコレート用油脂の日本、米州での販売伸長に加え、採算性を重視した販売の継続により増益。

業務用チョコレート

Blommerの先物評価損益の計上はあったものの、日本での菓子向けの販売伸長に加え、欧州などでの伸長により増益。

乳化・発酵素材

日本でのクリームやドリンク向けの販売増、中国でのファイリングの伸長などにより増益。

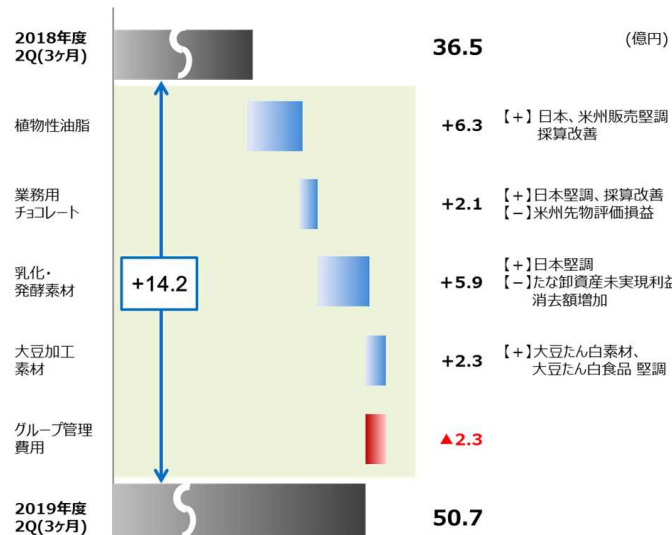
大豆加工素材

大豆たん白素材、大豆たん白食品の販売堅調により増益。

■ 四半期純利益

前期の減損損失の剥落により大幅増。

2019年度第2四半期 (3ヶ月) 営業利益増減分析



要因	FY18 Q2	FY19 Q2	増減額	要因分析
業務用チョコレート	11.7	13.8	2.1	
日本	13.4	15.7	2.3	菓子向け堅調
米州	▲4.1	▲5.9	▲1.9	
-Blommer、ハラルド			4.8	Blommerは、高付加価値品が伸長。 ハラルドは、レアランなどによる採算性悪化があったものの、販売数量の増加により前年比で赤字幅改善。
-Blommer先物評価損益影響額			▲6.7	
東南アジア	1.8	2.6	0.8	
中国	0.3	0.4	0.1	
欧州	0.8	0.9	0.2	
連結調整	▲0.6	0.0	0.6	

◆2. 連結損益概要(2Q累計)

第2四半期累計(上期)

(単位: 億円)

	18年度 2Q累計	19年度 2Q累計	前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	植物性油脂	529	486	▲43	▲8.1%
	業務用チョコレート	342	844	+502	+146.9%
	乳化・発酵素材	420	407	▲13	▲3.0%
	大豆加工素材	181	179	▲2	▲1.3%
	合計	1,471	1,916	+444	+30.2%
営業利益	植物性油脂	35	44	+10	+27.6%
	業務用チョコレート	44	24	▲20	▲45.7%
	乳化・発酵素材	15	19	+5	+33.5%
	大豆加工素材	17	21	+4	+21.8%
	連結調整・ グループ管理費用	▲16	▲18	▲2	-
合計	95	91	▲4	▲4.5%	
営業利益率	6.4%	4.7%	▲1.7pt	-	
経常利益	95	83	▲13	▲13.5%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	44	60	+16	+36.3%	
EBITDA	147	171	+24	+16.0%	
ROE	5.6%	7.6%	+2.1pt	-	
営業キャッシュフロー	120	142	+22	+18.3%	
投資キャッシュフロー	▲115	▲100	+15	▲13.2%	
フリーキャッシュフロー	5	42	+37	+783.4%	
NET有利子負債	509	1,380	+871	+171.1%	
NET運転資本	567	730	+163	+28.7%	
NET有利子負債/EBITDA	1.7倍	4.0倍	+2.3倍	-	
CCC(キャッシュコンバージョンサイクル)	104日	116日	+12日	-	

※欧州は、植物性油脂事業と業務用チョコレート事業に分割。18年度は遡及修正済み。

■ 営業利益

<ポイント>

植物性油脂事業、乳化・発酵素材事業、大豆加工素材事業で増益となったが、業務用チョコレート事業での米州の減益により、連結営業利益は前年同期比4.5%の減益となった。

<セグメント別>

植物性油脂

日本、欧州での採算性を重視した販売に加え、米州での昨年の寒波の影響からの反動により増益。

業務用チョコレート

Blommerの先物評価損益(▲16億)、またブラジルでの需要期の販売減、レアル安による原料コスト増により減益。

乳化・発酵素材

日本でのクリーム等の販売が堅調に推移したことに加え、東南アジアの調製品事業の業績改善により増益。

大豆加工素材

大豆たん白素材、大豆たん白食品の販売が堅調に推移し増益。

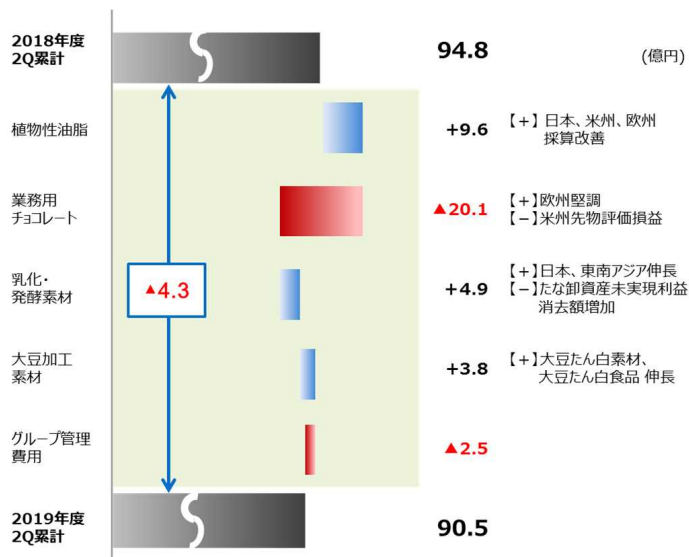
■ 四半期純利益

旧堺工場の売却益の計上などに加え、前期の減損損失、災害による損失の剥落により大幅増。

■ CCC

前年同期比では+12日だが、Blommerの影響除けば105日

2019年度第2四半期累計(上期) 営業利益増減分析



要因	FY18 上期	FY19 上期	増減額	要因分析
業務用チョコレート	43.9	23.8	▲20.1	
日本	28.5	29.3	0.8	菓子向けが堅調に推移
米州	10.4	▲13.0	▲23.4	
・ハラルド、Blommer			▲7.2	Blommerは、高付加価値品が伸長。 ハラルドは、2Qの販売数量は回復したものの、繁忙期であるイースター商戦の販売減少、レアル安などによる採算性低下などにより減益。
・Blommer先物評価損益影響額			▲16.2	
東南アジア	4.0	4.6	0.6	
中国	0.5	0.8	0.3	
欧州	0.9	2.0	1.1	販売堅調
連結調整	▲0.5	0.1	0.5	

◆3. 連結 貸借対照表

(単位：億円)

	18年度 期末	19年度 2Q末	前期末比	主な増減要因
流動資産	1,854	1,698	▲156	現預金の減少、売上債権の減少
固定資産	1,980	1,966	▲14	のれんの減少
繰延資産	-	3	+3	社債発行費用の計上
資産合計	3,834	3,667	▲167	
有利子負債	1,605	1,555	▲50	短期借入金の減少
その他負債	637	518	▲119	買掛金の減少
負債合計	2,242	2,073	▲168	
純資産合計	1,592	1,593	+1	

◆4. 連結 キャッシュ・フロー

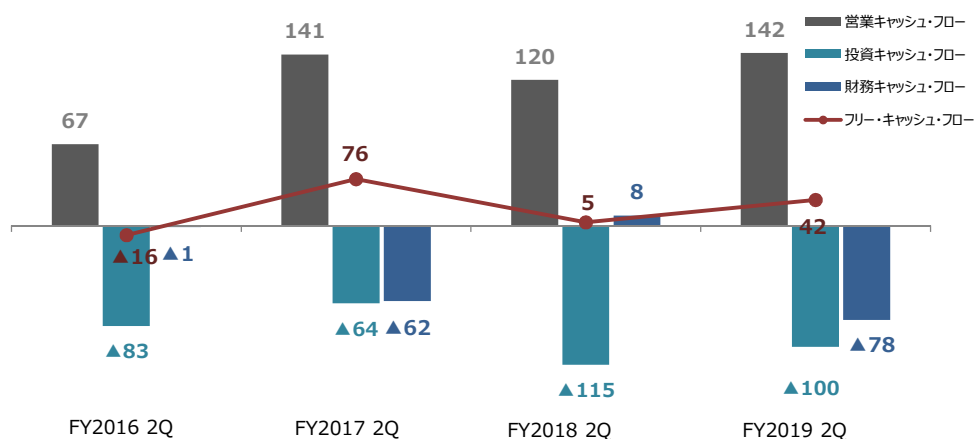
(単位：億円)

	18年度 2Q累計	19年度 2Q累計	前年同期比	主な増減要因
税金等調整前四半期純利益	70	83	+13	
減価償却費	55	66	+11	
のれん償却費	3	18	+15	
他増減	▲8	▲26	▲17	
営業キャッシュ・フロー	120	142	+22	
投資キャッシュ・フロー	▲115	▲100	+15	
フリー・キャッシュ・フロー	5	42	+37	
借入金等による調達・返済	85	▲52	▲137	短期借入金の返済
配当金支払等その他	▲21	▲21	+0	
財務キャッシュ・フロー	8	▲78	▲86	
現金及び現金同等物増減額	6	▲38	▲44	
現金及び現金同等物残高	136	175	+40	

(注) 減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

キャッシュ・フロー (2Q累計)

(単位：億円)



◆5. 連結 指標

(単位：億円)

	18年度 2Q実績	18年度 実績	19年度 2Q実績	19年度 期初予想	19年度修正 予想(注2)
EBITDA	147	300	171	392	-
設備投資額	81	159	63	220	-
減価償却費	50	110	60	107	-
有利子負債	645	1,605	1,555	1,535	1,555
NET有利子負債	509	1,392	1,380	1,366	1,355
NET運転資本	567	171	730	745	-
NET有利子負債/EBITDA	1.7	4.6	4.0	3.5	-
1株当たり純資産	1,798円	1,820円	1,819円	1,954円	-
自己資本比率	58.1%	40.8%	42.6%	42.7%	-
D/レシオ	0.42	1.03	0.99	0.91	0.97
Net D/レシオ	0.33	0.87	0.84	0.80	0.79
営業キャッシュフロー	120	226	142	320	-
フリーキャッシュフロー	5	▲565	42	101	-
ROE	5.6%	7.3%	7.6%	9.4%	10.7%
ROA	7.1%	5.5%	4.4%	5.7%	6.2%
売上高営業利益率	6.4%	6.2%	4.7%	5.6%	5.9%
CCC	104日	105日(注1)	116日	105日	106日

(注)・減価償却費は有形固定資産の減価償却費を、純資産は非支配株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。

・D/レシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本 ・Net D/レシオ = Net有利子負債 (有利子負債 - 現預金) ÷ 株主資本

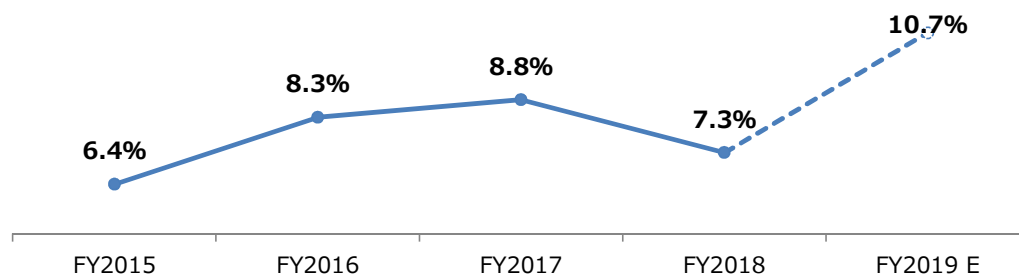
・ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 自己資本 (期首と期末の平均値)

・ROA = 経常利益 ÷ 総資産 (期首と期末の平均値)

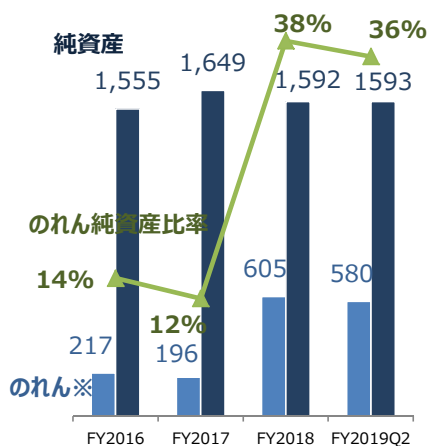
(注1)2018年度のCCCはBlommerを除く既存事業

(注2)Blommer、INDUSTRIAL FOOD SERVICES(以下、豪州IFS)を除く海外グループ会社の決算期を変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。

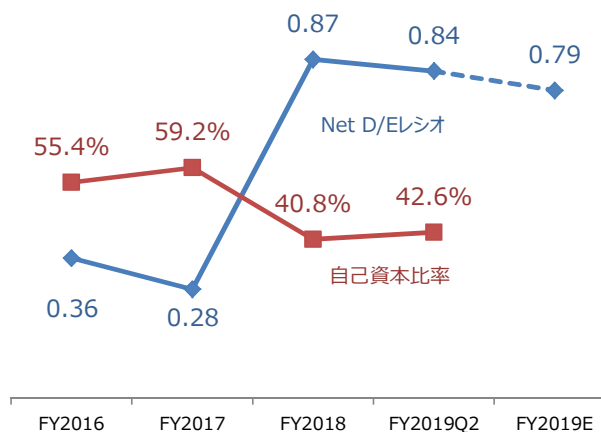
ROE



のれん純資産比率 (単位：億円)



Net D/レシオ 自己資本比率



※のれんは広義ののれんを使用

◆6. 2019年度通期業績予想

2019年度通期業績予想

		18年度 実績	19年度 期初予想 (12ヶ月)	19年度 修正予想 (12ヶ月)	19年度 修正予想 (3ヶ月)	19年度 修正予想 (15ヶ月)
売上高	植物性油脂	1,097	1,139	983	156	1,139
	業務用チョコレート	686	1,874	1,783	91	1,874
	乳化・発酵素材	865	915	854	61	915
	大豆加工素材	361	372	365	7	372
	合計	3,008	4,300	3,985	315	4,300
営業利益	植物性油脂	81	91	90	10	100
	業務用チョコレート	74	103	95	9	103
	乳化・発酵素材	33	43	45	4	50
	大豆加工素材	33	41	40	1	41
	連結調整・ グループ管理費用	▲37	▲38	▲39	-	▲39
合計	185	240	230	25	255	
営業利益率		6.2%	5.6%	5.8%	-	5.9%
経常利益		182	220	217	23	240
親会社株主に帰属する当期純利益		116	152	152	18	170

■営業利益

<ポイント>

海外事業（Blommer、豪州IFS除く）の決算期変更に伴い、営業利益計画を240億円から、255億円に修正。（12ヶ月ベースの計画は240億円から230億円に修正）

業務用チョコレート事業で、Blommerの販売数量の減少、ハラルドの採算性の低下を見込むもの、植物性油脂事業や大豆加工素材事業の堅調な推移を見込む。

<セグメント別>

植物性油脂

採算性を重視した販売の継続に加え、チョコレート用油脂の堅調な販売、及び、北米での寒波・ハリケーンの影響がなくなることによる伸長などを見込む。

業務用チョコレート

Blommerの下期での販売数量の減少、ブラジルでのレアル安などによる採算性の低下は見込むもの、Blommer買収費用の減少に加え、日本、欧州での伸長を見込む。

乳化・発酵素材

日本でのクリームなどの販売伸長、調製品事業の前年比での業績改善などを見込む。

大豆加工素材

大豆たん白素材、大豆たん白食品の採算性改善、販売伸長を見込む。

※19年度修正予想(12ヶ月)は、海外連結子会社の1月から12月の12ヶ月を反映。尚、Blommerは2月から1月の12ヶ月を反映。

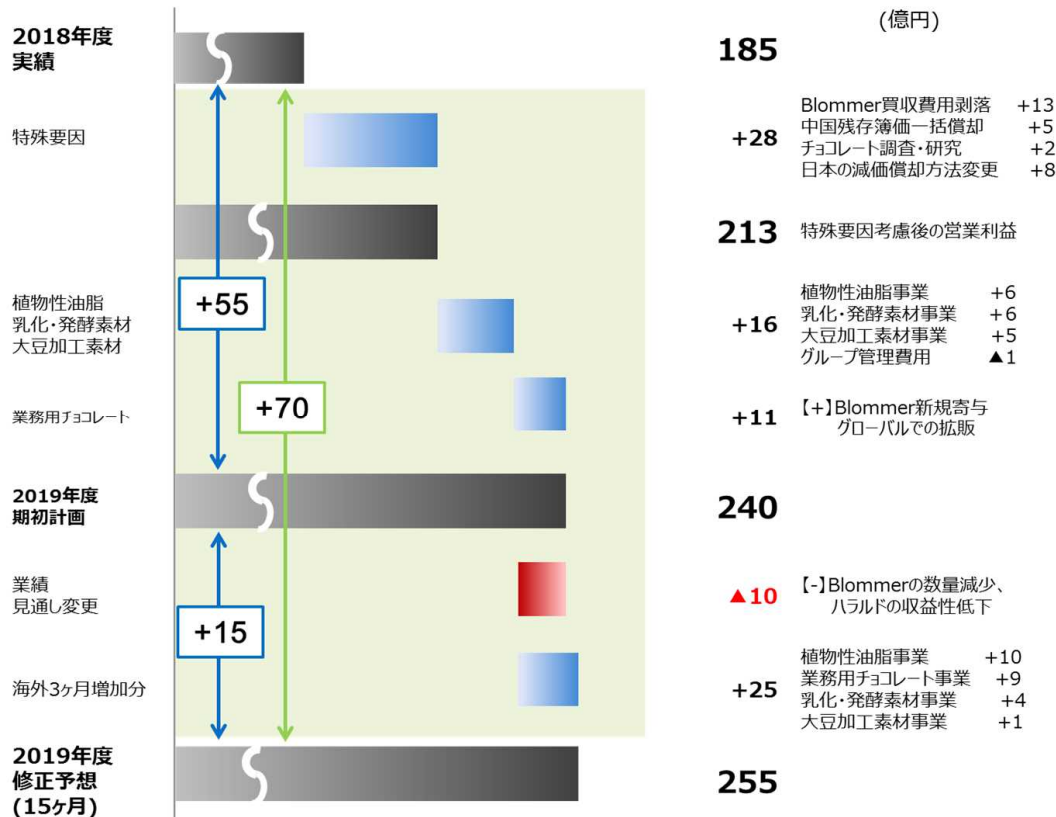
19年度修正予想(3ヶ月)は、海外連結子会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う3ヶ月間(1月から3月)の増加額を反映。

19年度修正予想(15ヶ月)は、海外連結子会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。

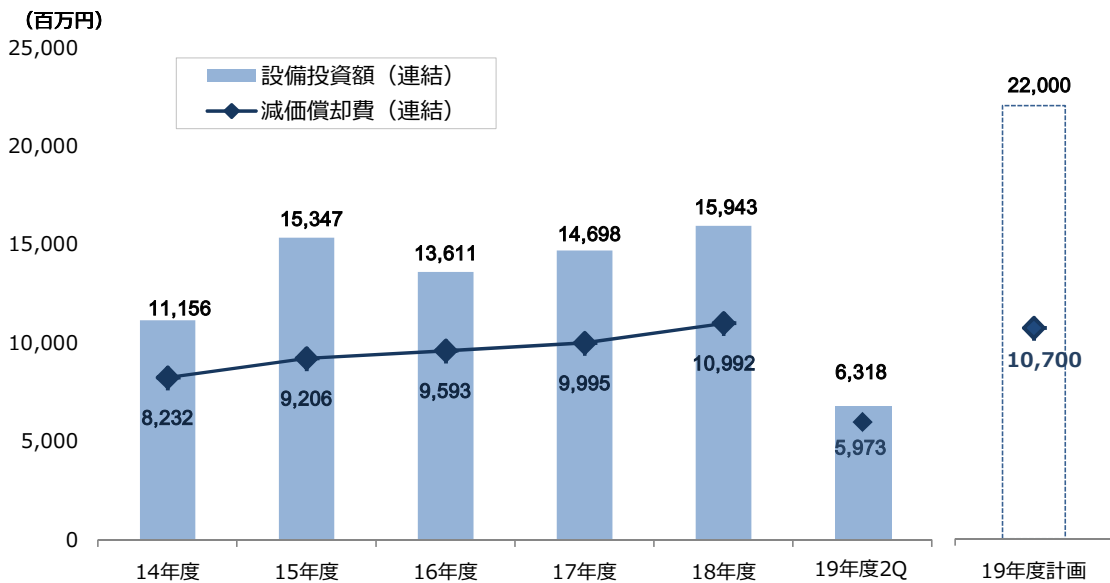
19年度にセグメント変更を実施。製菓・製パン素材事業を、業務用チョコレート事業と乳化・発酵素材事業に変更。

また、セグメント名を油脂事業を植物性油脂事業、大豆事業を大豆加工素材事業にそれぞれ変更。

2019年度営業利益増減分析

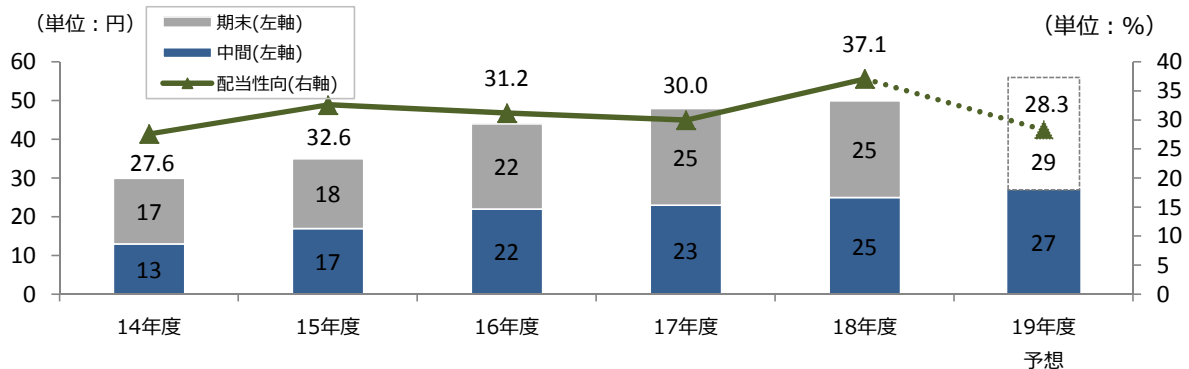


◆7.設備投資額・減価償却費の推移



2019年度2Q累計実績		2019年度計画(期初計画)	
設備投資	63億円	設備投資	220億円
<主な投資内容> ・北米 油脂 新拠点設立 8 億円 ・Blommer 設備投資 6 億円 ・日本 粒状大豆たん白工場 1 億円		<主な投資内容> ・北米 油脂 新拠点設立 51億円 ・Blommer 設備投資 13億円	
減価償却	60億円	減価償却	107億円

◆8.配当の推移



単位：円

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度 予想
中間	12	12	13	13	17	22	23	25	27
期末	12	13	13	17	18	22	25	25	29
合計	24	25	26	30	35	44	48	50	56
配当性向	24.9%	25.8%	27.4%	27.6%	32.6%	31.2%	30.0%	37.1%	28.3%